

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-4 企業誘致の推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	企業立地課長 横原 由文	電話番号	0852-22-5764
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	企業誘致のフォローアップ
目的	(1) 対象 立地計画認定企業 (2) 意図 立地企業の支援ニーズを把握し、適切に対応することで、県内事業所の維持・拡大を図る。
事業概要	フォローアップのための企業訪問活動 ・事業所の維持、拡大を図るため、県内事業所を定期的に訪問し、業況、投資計画等の情報を収集し、あわせて情報提供等の支援活動を実施。 企業交流会 ・立地企業と地元企業の間で意見交換、情報収集、取引拡大等を促進するための交流会を開催。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	立地計画認定企業に対する訪問活動	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		350.00	355.00	360.00	365.00	
式・定義	フォローアップ専門員及び企業立地課職員による立地計画認定企業（県内事業所）への訪問回数		実績値	348.00	385.00	379.00	353.00		
			達成率		110.00	106.80	98.10		%
式・定義	指標名	企業交流会の参加者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	企業交流会の参加者数（主催者等出席者を除く）		実績値	118.00	119.00	55.00	104.00		
			達成率		119.00	55.00	104.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,592	3,622
うち一般財源(千円)	3,592	3,622

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・専門員（嘱託）が約180の立地計画認定企業に対し、年1回程度訪問し、情報収集や要望の聞き取りを行った。
- ・企業交流会については、立地企業と地元企業の併せて27社104人が参加した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・専門員（嘱託）による立地企業への訪問活動で企業の動向が把握できるとともに、要望事項への迅速な対応が可能となった。
- ・企業交流会へ参加した立地企業と地元企業の交流と情報交換が促進された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・立地企業の事業所縮小や県外工場への集約、撤退、海外移転の可能性がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・経済情勢の変化などにより、立地計画認定企業の中には売上げの減少が続いている企業がある。

③原因を解消するための「課題」

- ・いかに早期に情報収集し、留置対策等をとるか。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・立地企業のフォローアップ内容をより充実させるとともに、必要に応じて親企業や本社への訪問を行うなど、積極的な情報収集に努める。
- ・また、県内工場を拠点工場に位置づけるための投資に対しては、雇用が増えなくても支援できる制度があるので、これらを活用し留置対策を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）